

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
芸術	美術 I	普通科・1年生	2
教科書	[主たる教材] 日本文教出版株式会社 高校生の美術 1		
副教材等	[副教材] なし		

1 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ① 絵画・彫刻など、適切な制作手順や道具の使用方法で制作する知識・技能の定着。
- ② 自ら制作した作品を適切な言葉で発表し、また他の人の制作物を適切に評価出来る、知識、技能を活用した思考力、判断力、表現力の育成。
- ③ 鑑賞を通して、美術文化への理解を深め、日常的な美術文化への関心を高める。

3 学習計画

月	内 容	配当時間	指導上の留意点
4月	オリエンテーション 鉛筆デッサン ○1学期中間考査	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 題材の意図を理解し、制作に意欲的に取り組んでいるかどうか。 ・ 発想と技法の関連を知ることが出来たか。 ・ 作業の手順を理解できているか。 ・ 用具の使い方は適切か。 ・ 発表は客観的か、感じたこと、考えたことと文章化が出来ているかを個別に指導する。 ・ 生徒一人一人の到達状況に合わせ、適切な課題を設ける。
7月	風景画 (アクリルガッシュ) ○1学期期末考査	14	
7月	南陵祭 展示準備 立体 (粘土) ○2学期中間考査	18	
11月	絵本作り 鑑賞	18	
12月	○2学期期末考査		
1月	絵画 (トリックアート) ○3学期中間考査	18	
3月	○学年末考査	8	

計 64 時間 (55分授業)

4 課題・提出物等

授業内での制作物または鑑賞を行った際のワークシートやレポート

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)		(知識・理解)
美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

以上の観点を踏まえ、作品提出、完成の状況・学習活動への参加状況・授業観察・資料の活用、応用状況・制作手順や用具の使い方・鑑賞時 (関心、集中度など) の状況・レポートの内容などから総合的に評価を行う。

6 担当者からの一言

授業を通して想像力や創造力を養い、美術に親しみ、ゆとりある豊かな暮らしへと活かして欲しい。また、自分の創りたい物を見つけ、自ら制作設計を立て、制作物を最後まで完成させるという活動を他のことにも活かして欲しい。